

『青い芽』は、多磨全生園で中学生時代を送った子どもたちの卒業文集です。

東村山中学校全生分教室は、「らい予防法」が成立した1953年に開校し、

1979年に最後の卒業生を送り出しました。

すでに治療薬が開発され、ハンセン病が治る病気になってきたころのことです。

子どもたちは治療を受けながら小さな校舎に通い、

卒業後は進学や就職をする子もいれば、

療養所で治療を続けた子もいました。

卒業生を送り出す時には、教室の全員で文集を編みました。

この朗読会ではそのなかからいくつかの作文と詩を、みなさんにお届けします。

中学生たちが、病むからだに向き合い、

家族と離れて暮らすなかで通り抜けたさまざまな思いに、

耳を傾けてみませんか。

朗読は、ハンセン病療養所を舞台にしたお芝居*に取り組む俳優さんです。

柗の垣根の中で暮らした中学生と、

子どもたちを守り育てたおとなたちの声を、どうぞお聴きください。

*「あいまい宝島」(2015/2019)
「風が吹いた、帰ろう」(2016/2017)
「アミとナミ」(2019)
いずれも劇団桃唄 309

朗読会『青い芽』の世界

PROGRAM プログラム

プロローグ

「やっと書いた作文」(3年生)

第1章 療養所へ

「入園」(3年生)

…など

第2章 療養所の中学生

「共同生活」(2年生)

「さくら」(2年生)

「教室の片隅から」(補助教師*)

…など

第3章 病とのたたかい

「私の希望」(3年生)

「思い」(少女寮寮母)

…など

第4章 柗のうちとそと

「帰省して」(2年生)

「ペンフレンド」(2年生)

…など

第5章 将来の夢と現実

「僕の将来」(2年生)

「バレリーナーへの夢」(3年生)

…など

第6章 卒業

「卒業を前にして」(3年生)

「わが道をゆく」(3年生)

…など

エピローグ

『全生分教室の歩み』より

* 補助教師

分教室で教師として働いたおとなの入園者

内容は変更になる場合がございます。

CAST 出演者



中 島 聡 (なかじまさとし)

俳優。1968年生まれ。埼玉県出身。大学在学中より劇団を結成し6年ほど活動。その後は小劇場を中心に様々な劇団に客演をしたり、TVドラマやCMなどにも出演する。また小学校で演劇を使ったコミュニケーション能力向上の授業があり、折を見て参加している。マイペースにハンセン病のことを勉強中。今年には地方の療養所にも行ってみようかと計画している。



佐 藤 達 (さとうとおる)

俳優。劇団桃唄309、(株)ヘリンボーン所属。秋田県出身。所属劇団公演のほかにも他劇団への客演多数。秋田の山奥で過ごした子ども時代のことを中心に、小さな思い出をめぐるお手製紙芝居でライブ活動を精力的に行う紙芝居詩人でもある。映画・ドラマなどの映像作品や、TV・ラジオCMのナレーションのお仕事なども。味噌鍋の隠し味はカルピス。納豆には刻んだネギを。



山 西 真 帆 (やまにしまほ)

俳優。東京都出身。劇団桃唄309所属。舞台での活動のほかに、各地の小学校にて、児童を対象にした、演劇を使ったコミュニケーション能力育成の文化庁事業にも携わっている。好きなことは読書と整理整頓。苦手なことは満員電車に乗ることと筋トレ。